

鼓童

交

流

公

演

2017

身体まるごとで感じる

和太鼓の響き



交流公演
とは

「できるだけ近い距離で本物の音をお届けし、和太鼓や和楽器の楽しさを感じてもらいたい」という熱いメッセージをお届けするプログラムが「鼓童の交流公演」です。太鼓の魅力、太鼓を打つ楽しさを知ってもらうことはもちろん、その太鼓を叩く私達自身と身近に接する場を創りだし、元氣や勇氣、自信や希望、そして自分自身の発見につながる交流の場もてる公演です。



津山市出身

坂本雅幸

出演!

ほか7名予定

予定演目

千里馬、大太鼓、屋台囃子 など

加茂郷コンサート「鼓童交流公演」

11月3日(金・祝) 15:30 開演

(15:00 開場)

津山市加茂町文化センター

入場料(税込) 全席自由

一般 / 4,500円

(当日5,000円)

中学生以下 / 3,000円

(当日3,500円)

※2歳以下の方の入場はご遠慮ください

8月1日
発売開始

主催 / 一般財団法人津山市都市整備公社 津山市加茂町文化センター

後援 / 津山市、津山市教育委員会、津山広域事務組合、エフエムつやま、FM岡山、津山朝日新聞社、山陽新聞社、RNC西日本放送、RSK山陽放送、TSCテレビせとうち (公社)津山市観光協会、加茂文化協会、(一財)あばグリーン公社、テレビ津山、作州津山商工会、ピアノ工房アムス、鶴山桜太鼓 (順不同)

プレイガイド / 津山市加茂町文化センター、(一財)津山市都市整備公社、Yショップ津山市役所店、久世エスバスセンター、勝北文化センター、ピアノ工房アムス、鶴山桜太鼓 津山鶴丸太鼓

お問い合わせ / 津山市加茂町文化センター 津山市加茂町塔中113-6 ☎(0868)42-7031

太鼓って楽しい!

観て、聴いて、叩いて、

太鼓の魅力を感じよう!

交流公演 2017



太鼓芸能集団 鼓童

太鼓を中心とした伝統的な音楽芸能に無限の可能性を見だし、現代への再創造を試みる集団。1981年、ベルリン芸術祭でデビュー。以来49ヶ国で5,800回を超える公演を行う。なかでも、多様な文化や生き方が響き合う「ひとつの地球」をテーマとした「ワン・アース・ツアー」は、世界各地で3,900回を数える。劇場公演のほか、小中高校生との交流を目的とした「交流学校公演」、ワールドミュージック・クラシック・ジャズ・ロック・ダンスパフォーマンスほか異なるジャンルの優れたアーティストとの共演や、世界の主要な国際芸術祭、映画音楽等へ多数参加している。佐渡島における鼓童の創造的な活動、ライフスタイルとその理念は、世界のアーティストや芸術関係者からも注目を集めている。2012年から2016年まで坂東玉三郎氏を鼓童の芸術監督に招聘した。



Facebook :
KodoHeartbeatJp



Twitter :
@KodoHeartbeat

鼓童の活動に関する最新情報は公式サイトで
<http://www.kodo.or.jp/>

鼓童の最新情報、毎日発信中!

鼓童ブログ

検索 🔍

KODŌ

〒952-0611 新潟県佐渡市小本金田新田 148-1
Tel. 0259-86-3630 (月~金、9:30~17:00)
Fax. 0259-86-3631 Email: heartbeat@kodo.or.jp

鼓童 出演者プロフィール



坂本 雅幸 (特別出演)

2003年研修所へ入所、2006年よりメンバー。主に太鼓を担当、ソロやセンターポジションを務める。国内外での公演はもとより、様々なアーティストとの共演・外部演出作品などに数多く出演し、アンサンブルの要として舞台をリードする。力強さと繊細さを兼ね備え、さまざまな演目をしなやかに打ちこなしゆく鼓童の中心的奏者。自身監修の調律桶太鼓「奏(かなで)」が2015年度グッドデザイン賞を受賞。



中込 健太

2004年研修所入所、2007年よりメンバーとして活動。舞台では主に太鼓を担当。「大太鼓」や「屋台囃子」など力強い太鼓を得意とし、パワフルでエネルギー溢る演奏が魅力。心優しく、幅広いお客様に慕われている正統派の太鼓打ち。2015年「アース・セレブレーション」ではイラストレーターの黒田征太郎氏、ドラマラーの中村達也氏とライブペインティング「炎」を開催、2016年「鼓童村コンサート」の演出を担当、作曲も行う。



渡輪 真弥

幼い頃から太鼓に慣れ親しみ育つ。2009年研修所入所、2012年よりメンバーとして活動。舞台では太鼓、箏などを担当する。小柄ながら全身を使って太鼓に向かい、男性にも引けをとらない叩きっぷりが魅力のパワーヒッター。鼓童の代表演目「モノクローム」を女性演奏者として初めて演奏。2015年「輝夜姫」や岩田守弘氏との共演作品「魂」などパレエ作品へ参加、2016年ブラジルでワークショップを開催、国内外で活躍の場を広げる。



地代 純

高校では和太鼓部で活動。2011年研修所入所。2013年、坂東玉三郎演出・主演の舞台「アマテラス」に出演、準メンバーながら主要な演目を担当した。2014年よりメンバー。舞台では主に太鼓、踊りを担当。「神秘」公演では「屋台囃子」をメインで演奏した。「永遠」公演では、コンテンポラリーなダンスにも取り組む。切れ味抜群、軽やかな身のこなしが魅力の踊れる太鼓打ち。



渡辺 健吾

小学校6年より高校3年まで地元太鼓グループで活動。2012年研修所へ入所。2015年よりメンバー。舞台では主に太鼓を担当する。2014年「打男」フランス、スペイン公演では「巴」を担当。2015年「アース・セレブレーション」城山コンサートにて「三宅」のセンターポジションに抜擢。平胴大太鼓などの大きな太鼓を得意とする、腰の決まりと打ち姿が美しい若手メンバー。



米山 水木

2歳から太鼓を始める。2013年研修所へ入所。2016年より正式メンバー。舞台では主に、太鼓を担当。2015年「道」、「交流公演」「佐渡特別公演」、ロシア「平和友好文化フェスティバル」出演、インドネシア・パリでの公演など国内外の公演に参加。即興性に富んだ舞台経験を積む。2016年「若い夏」「交流公演」など国内で活動。安定感とパワフルな演奏に、爽やかな笑顔が持ち味の女性奏者。



平田 裕貴

2015年研修所へ入所。2017年より準メンバー。



山脇 千栄

2015年研修所へ入所。2017年より準メンバー。